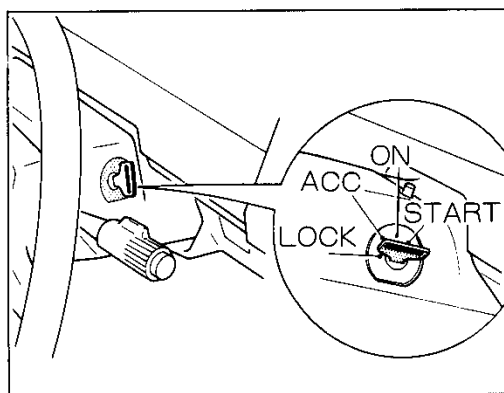


運転装置の使い方

エンジン・スイッチ	35
エンジンのかけ方	36
エンジンの止め方	36
マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	37
オートマチック・トランスミッション	37
パーキング(駐車)・ブレーキ	44



エンジン・スイッチ

■各位置の働き

LOCKキーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされます。

ACC.....エンジン停止時、下記のものが使用できます。
ラジオ、カセット・ステレオ、シガレット・ライター

ONエンジン回転中の位置。

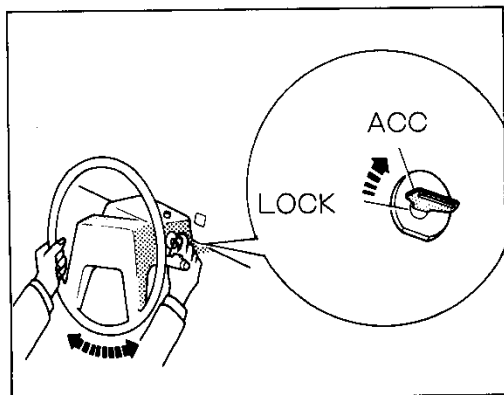
STARTエンジンを始動する位置。



ちょっと一言

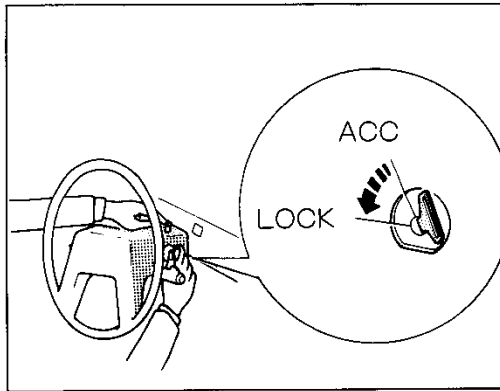
エンジンが始動したら手を離してください。
START位置のままにしているとエンジンを損傷するおそれがあります。

また、エンジンがかからないとき、15秒以上STARTの位置へ回したままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。



▶ LOCKからACCに回すとき

キーが回りにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。



▶ ACCからLOCKに回すとき

ボタンを押しながらキーを回します。キーを抜くとハンドルがロックされ車両盗難防止に役立ちます。



バッテリーあがりを起こさないために、次の事項を必ず守ってください。

1. エンジン停止時はスイッチをLOCKまたはACCにする。長時間停止する場合はキーを抜く。
2. エンジンを止めた状態（ONまたはACC）で、ラジオ、カセット・ステレオ、クルーズ・コンピューターを長時間使用しない。

始動するときは必ずブレーキ・ペダルを踏むか、パーキング（駐車）・ブレーキをかけ、チェンジレバーは下記の位置で。

	マニュアル(ギヤ式)	オートマチック
ブレーキ		
チェンジレバー		

エンジンのかけ方

1. アクセル・ペダルから足を離したままエンジン・スイッチをSTARTの位置に回しエンジンを始動します。
2. そのままで、しばらく暖機運転をします。暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。



注意! ターボの場合、始動直後は、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。ターボ機能を損なうおそれがあります。

エンジンの止め方

1. パーキング（駐車）・ブレーキをかけます。
2. エンジン・スイッチをACCまたはLOCKの位置にします。

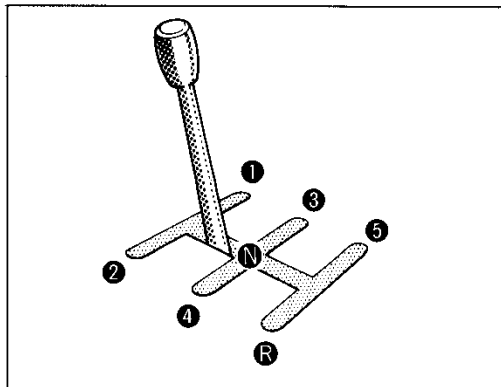
	マニュアル(ギヤ式)	オートマチック
ブレーキ		
エンジン・スイッチ		



ターボ車は、ターボ機能を損なうおそれがありますので、高速走行、登坂路走行直後にエンジンを停止するときは、右の表にしたがって必ずアイドル運転をしたうえで停止してください。

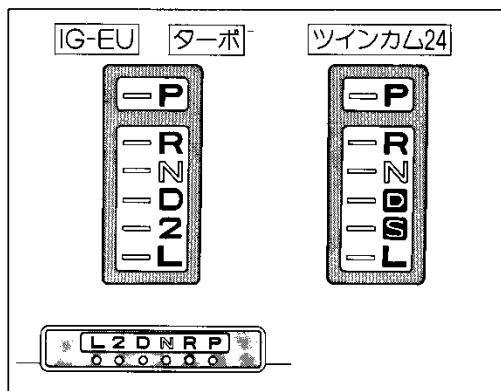
〔参考〕エンジン停止前のアイドル運転時間

運転状況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブ・ウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分



マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション

1. **R**はリバース(後退)を示します。
2. **5**→**R**へは直接入れることはできません。いったん**N**にしてから**R**へ入れてください。



オートマチック・トランスミッション

あなたのお車は左図の表示のうちどれですか？

1G-EU **ターボ** は左側のタイプです。このまま続けてお読みください。

ツインカム24 は右側のタイプです。41ページ1コマ目からお読みください。

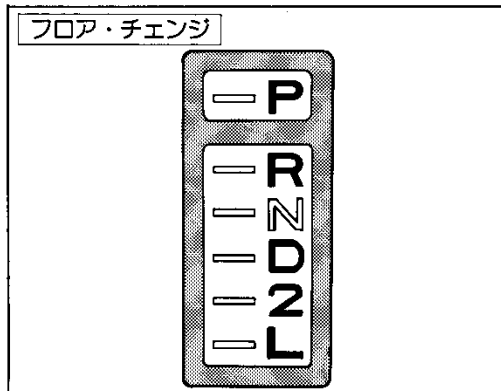
■オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッション

1G-EU **ターボ**

1G-EUは、2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションです。これはオーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションに、ロック・アップ機構を加え、燃費を向上させたものです。取り扱い方法は、走行状態により自動的にロック・アップするので、オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションと同じです。

▶各位置の働き

- **P**パーキング(駐車)……………駐車およびエンジン始動の位置
- **R**リバース(後退)……………バックさせるときの位置
- **N**ニュートラル(中立)………この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のため**P**の位置で始動してください。

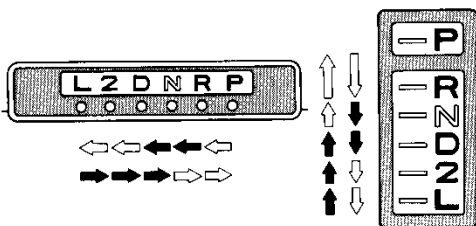


ハンドル・チェンジ



ハンドル・チェンジ

フロア・チェンジ



- ①ドライブ……………通常走行の位置
- ②セカンド(2速)……………エンジン・ブレーキが必要なとき使う位置
- ①ロー(1速)……………強力なエンジン・ブレーキが必要なとき使う位置

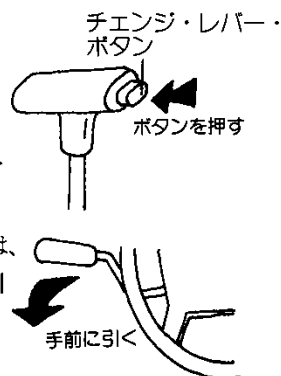


●ローは50km/h以上では使用しないでください。
ちょっと一言

▶レバーの動かし方

➡そのまま動かします。

- ➡●フロア・チェンジの場合は、チェンジ・レバー・ボタンを押して動かします。
- ハンドル・チェンジの場合は、チェンジ・レバーを手前に引いて動かします。



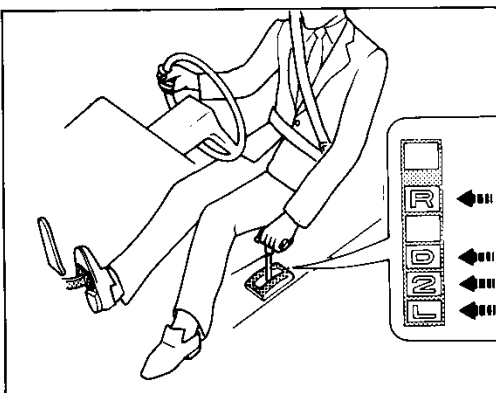
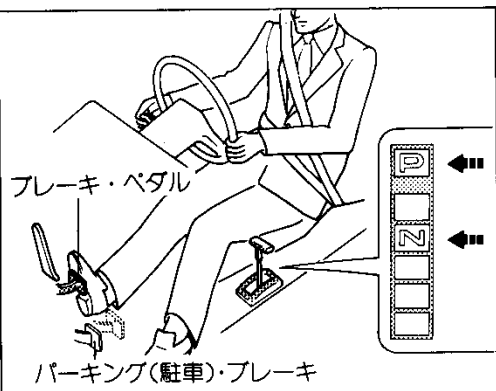
▶運転のしかた

1. エンジン始動

エンジンの始動は、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま、あるいはパーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま**①P**で行います。
(**①N**でも始動できますが、安全のため**①P**で行ってください。)

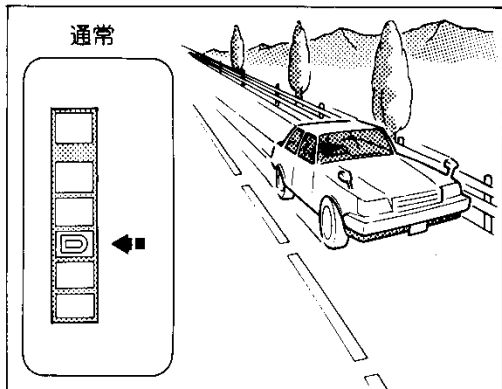
2. 発進

発進は右足でブレーキ・ペダルを踏んだまま、前進は**①D**または**②**、後退は**③R**にチェンジ・レバーを操作し、レバー位置を確認した後ブレーキを解除して、アクセル・ペダルを踏み発進します。



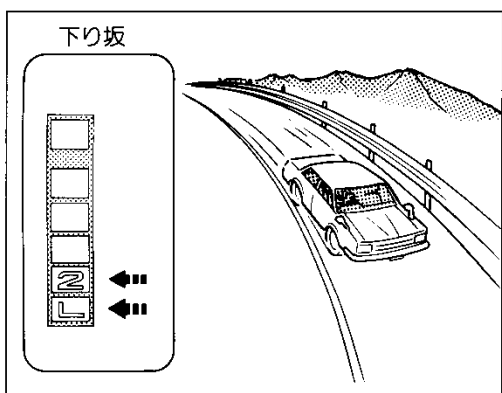
注意!

1. チェンジ・レバー操作は、**①P**、**①N**以外のレバー位置では車が走り出す状態になりますので、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま行ってください。
2. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、チェンジ・レバーを操作しないでください。
3. またエンジン回転が高いときは、ブレーキ・ペダルを強く踏んだままチェンジ・レバーを操作してください。急発進の危険があります。



3. 走行

- 通常は①で発進すると、スピードにより自動的にギヤが切り替わります。
- マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車と同様、①から発進し、②から①へと手動の操作でも運転できます。



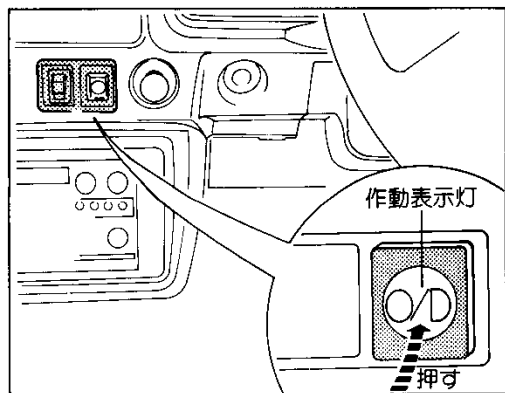
- 下り坂では路面状態やスピードに応じ②またはLに置いてエンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなど急加速したいときはアクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、チェンジ・レバーは①のままでもスピードにより自動的にギヤが切り替わって急加速できます。

運転装置の使い方



注意!

1. 走行中①にすることはやめてください。エンジン・ブレーキが効かなくなります。
2. 前進から後退、後退から前進にチェンジ・レバーを操作するときは、車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
3. ①にいたるときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
4. 長い坂道を下るときなどには、チェンジ・レバーを②またはLにして車速に適したエンジン・ブレーキを使用してください。ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険です。急激なエンジン・ブレーキをかけることはさけてください。

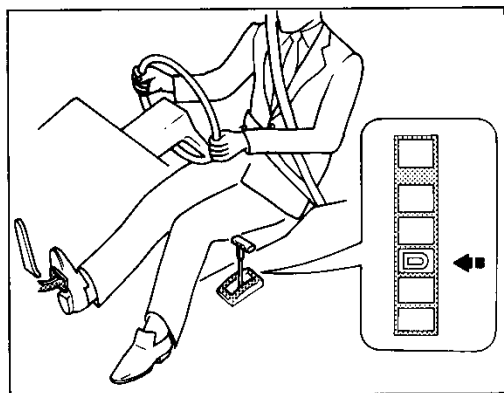


- 通常走行時はオーバードライブ・スイッチをONにしておいてください。4速オートマチック・トランスミッションとして働きます。
- オーバードライブが作動しているときは作動表示灯が点灯します。ただし、ターボ車は装置の作動に関係なく、ライト・スイッチをONにすると、作動表示灯が点灯します。
- オーバードライブ・スイッチをOFFにしておけば3速オートマチック・トランスミッションとして働きます。



ちよっと一言

1. エンジンの冷却水が冷えている場合には、オーバードライブ装置が作動しません。
2. 山道などの長い坂道を走行するときは、エンジン・ブレーキの効きをよくするため、スイッチをOFFにしておいてください。



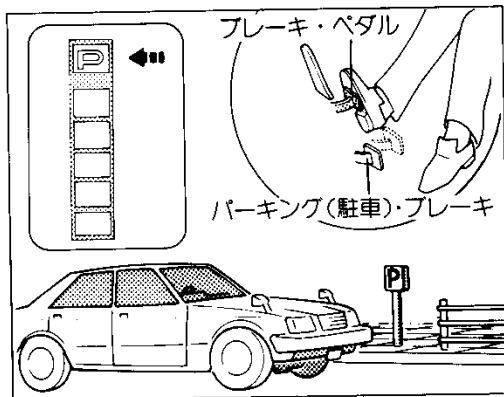
4. 一時停止

一時停止のときは、**①**、**②**、**③**、**④**のまま、ブレーキ・ペダルを確実に踏むか、そのつど**⑤**にしてブレーキ・ペダルを確実に踏みます。



注意!

1. 上り坂で停止するときには、アクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないでブレーキを使用して確実に止めてください。
2. 一時停止のときは、必ずしも**⑤**にする必要はありません。



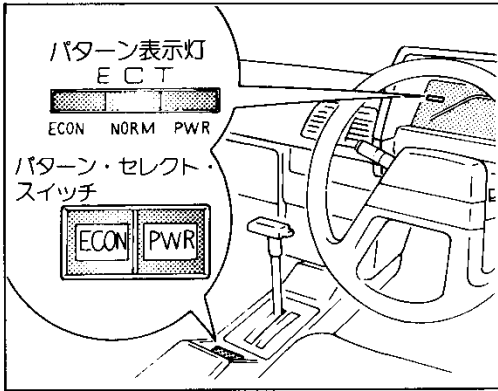
5. 駐停車

駐停車するときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだままチェンジ・レバーを**⑥**に置いて、パーキング(駐車)・ブレーキを確実にかけます。



注意!

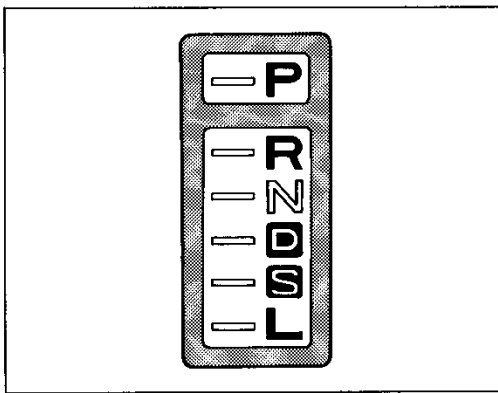
1. 駐停車中は、むやみにエンジンを高回転にしないでください。
2. 駐停車中に**⑥**に確実にはいっていないと、外部からのショックなどで、車が動くおそれがあります。



■ ECT (電子制御式2ウェイ・オーバードライブ付き 4速フル・オートマチック・トランスミッション)

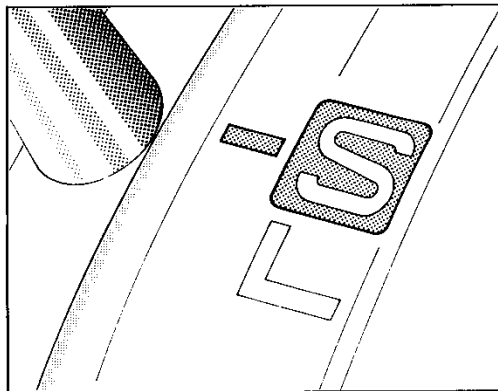
👁️ ツインカム24

ECTは、2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッションにマイクロ・コンピューターを組み合わせ、適切なギヤの切り替えを行います。また、パターン・セレクト・スイッチにより、運転条件に応じた走行パターンを選択できる機能を持たせたものです。



▶ 各位置の働き

- Ⓟ パーキング(駐車)..... 駐車およびエンジン始動の位置
- Ⓡ リバース(後退)..... バックさせるときの位置
- Ⓝ ニュートラル(中立)..... この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のためにⓅ位置で始動してください。
- Ⓛ ドライブ..... 通常走行の位置。パターン・セレクト・スイッチによりノーマル(通常)走行、エコノミー(経済)走行、パワー走行が選択できます。



Ⓢ スーパー..... エンジン・ブレーキが必要な場合に使う位置

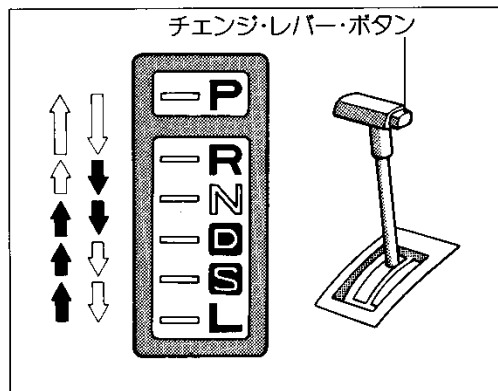
- ノーマル、エコノミー・パターンを選択した場合は、サードのエンジン・ブレーキがえられます。
- パワー・パターンを選択した場合は、セカンドのエンジン・ブレーキがえられます。

Ⓛ ロー(1速)..... 強力なエンジン・ブレーキが必要な場合に使う位置



Ⓛ ローは65km/h以上では使用しないでください。

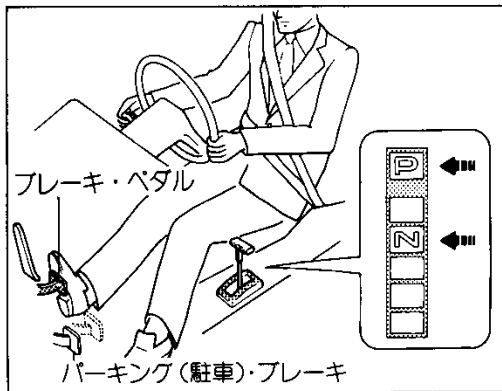
ちよつと一言



▶ レバーの動かし方

➡ そのまま動かします。

⇨ チェンジ・レバー・ボタンを押して動かします。

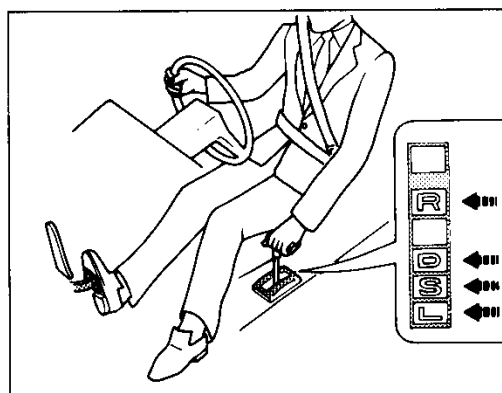


▶ 運転のしかた

1. エンジン始動

エンジンの始動は、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま、あるいはパーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま**P**で行います。

(**N**でも始動できますが、安全のため**P**で行ってください。)



2. 発進

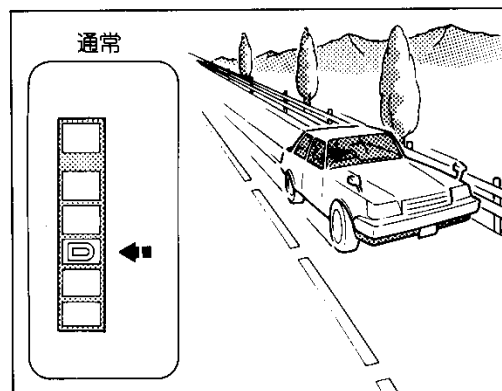
発進は右足でブレーキ・ペダルを踏んだまま、前進は**D**または**L**、**S**、後退は**R**にチェンジ・レバーを操作し、レバー位置を確認した後ブレーキを解除して、アクセル・ペダルを踏み発進します。



注意!

1. チェンジ・レバー操作は、**P**、**N**以外のレバー位置では車が走り出す状態になりますので、必ずブレーキ・ペダルを踏んだまま行ってください。

2. アクセル・ペダルを踏んだまま、チェンジ・レバーを操作しないでください。またエンジン回転が高いときは、ブレーキ・ペダルを確実に踏んだままチェンジ・レバーを操作してください。急発進の危険があります。



3. 走行

● 通常は**D**で発進すると、スピードにより自動的にギヤが切り替ります。マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車と同様、**L**から発進し、**S**から**D**へと手動の操作でも運転できます。

● 下り坂では、路面状態やスピードに応じ**S**または**L**にいて、エンジン・ブレーキをかけます。

● 追い越しなど急加速したいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、チェンジ・レバーは**D**のままでもスピードにより、自動的にギヤが切り替わって急加速できます。

● 走行・使用条件に合わせて、パターン・セレクト・スイッチで走行パターンを選択できます。

次の「走行パターン選択の目安」を参照してください。



ちょっと一言

走行中でも走行パターンを切り替えることができます。

〈走行パターン選択の目安〉

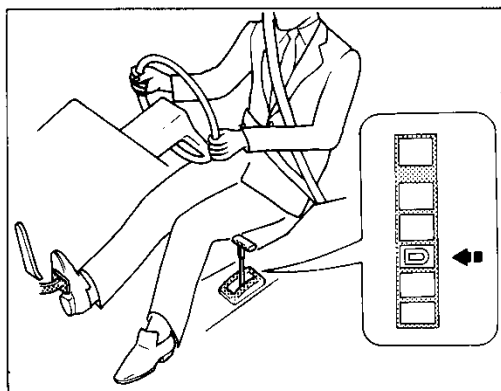
走行パターン	パターン・セレクト・スイッチの状態(注)	パターン表示灯	使用条件
ノーマル			通常走行の場合に使用し、パターン・セレクト・スイッチのセットは不要です。
エコノミー			より経済的な走行を希望する場合に使用します。
パワー			パワフルな運転や山間地での運転およびSレンジでセカンドのエンジン・ブレーキが必要な場合に使用します。

(注) 同一ボタンを再度押すと設定パターンは解除され、ノーマル・パターンになります。



注意!

1. 走行中Nにいたることはやめてください。エンジン・ブレーキが効かなくなります。
2. 前進から後退、後退から前進にチェンジ・レバーを操作するときは、車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
3. Pにいたるときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま確実に行ってください。
4. ゆるい長坂路の場合は、ノーマル・パターンのSレンジにしてください。(サードのエンジン・ブレーキが効きます。)
5. 山間路などの急な坂道の場合は、パワー・パターンのSレンジにしてください。(セカンドのエンジン・ブレーキが効きます。)
6. 強力なエンジン・ブレーキが必要な場合は、スピードに応じてLレンジに入れてください。ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険ですので、急激なエンジン・ブレーキをかけることはさけてください。



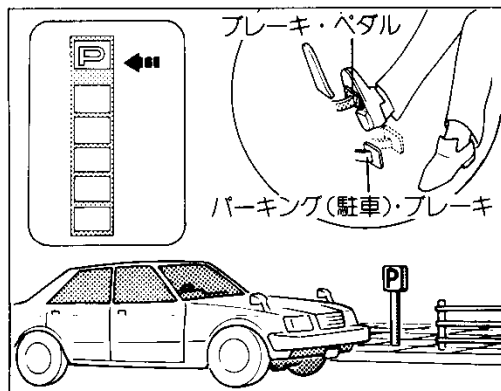
4. 一時停止

一時停止のときは、D、S、L、Rのまま、ブレーキ・ペダルを確実に踏むか、そのつどNにしてブレーキ・ペダルを確実に踏みます。



注意!

1. 上り坂で停止するときは、アクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないで、ブレーキを使用して確実に止めてください。
2. 一時停止のときは、必ずしもNにする必要はありません。



5. 駐停車

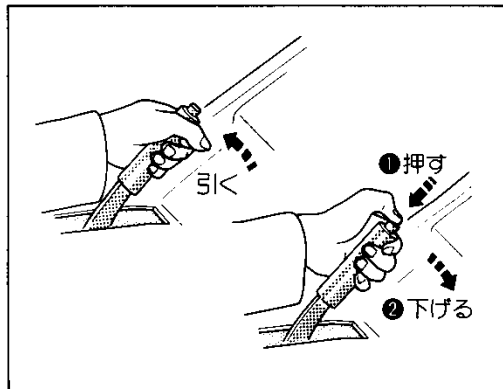
駐停車するときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだままチェンジ・レバーをPにいて、パーキング(駐車)・ブレーキ(駐車)・ブレーキを確実にかけます。



注意!

1. 駐停車中は、むやみにエンジンを高回転にしないでください。
2. 駐停車中にPに確実にはっていないと、外部からのショックなどで、車が動くおそれがあります。

運転装置の使い方



パーキング(駐車)・ブレーキ



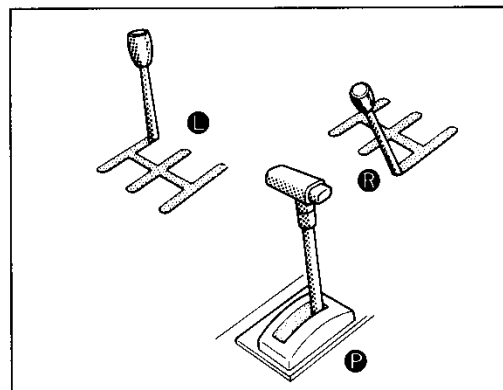
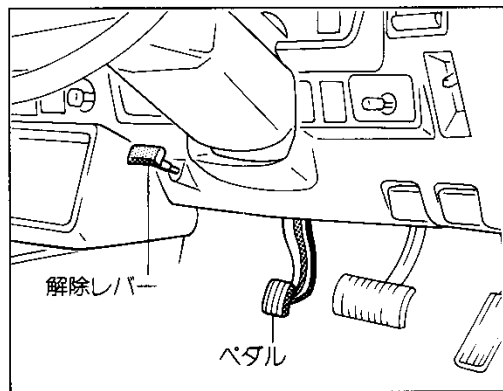
注意！ パーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

■マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車

1. 駐車するときは、ボタンを押さずにレバーをいっぱい引きま
す。
2. もどすときはレバーを少し引き上げながら、①先端のボタン
を押さえて、②もどします。

■オートマチック・トランスミッション車

1. 駐車するときは、ペダルを強くいっぱい踏み込みます。
2. もどすときは、解除レバーを引きます。



▶駐車のしかた

1. パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。
2. チェンジ・レバーを、マニュアル(ギヤ式)・トランスミッシ
ョン車はLロー(1速)またはRリバース(後退)、オートマチ
ック・トランスミッション車はPの位置にします。



ちょっと一言

1. 坂道では輪止め(搭載工具に含まれています)を
忘れず使用してください。
2. 急な坂道での駐車はしないでください。